



マナウス日本人学校 学校便り

マナウス

2016年3月14日 第38号(最終号)

学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

一年間のご支援に感謝申し上げます

明日の15日(火)の卒業式、修了式をもって、平成27年度を終えることとなります。ブラジル経済が悪化している今日、それが治安にも影響している中で子どもたちに大きな事故や事件などがなかったことに安堵しているところです。これもひとえに保護者や地域日系社会の皆様の温かいご理解とご支援によるものと考え、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度は、全日コース18名、日本文化コース11名でスタートし、2学期からは編入学により児童生徒数も32名となりました。昨年よりも児童生徒数が少ない中で運動会や学習発表会では盛大に開催することができ、児童生徒一人一人がその持ち味や集団としての力を十分に発揮できたと思っております。また、保護者の皆様には学校支援ボランティアとして、ミニ音楽会やボイダンスへの参加、並びに物品の借用など大変お世話になりました。

来年度は今年度の成果と反省を踏まえ、より子どもたち一人一人に寄り添った指導ができるように教職員一丸となって頑張っていきたいと考えております。学校教育活動推進に対しまして、今年度と変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、今年度終了のご挨拶とさせていただきます。

お世話になりました！ 帰任後もお元気で活躍を！

3月は別れの季節と言います。今年度をもって2名の先生、そして4名の児童生徒とお別れすることになります。12月の帰国にかかわるお別れ集会、日本文化コース修了式と2月に帰国する亜依さんに関わるお別れ集会と、お別れ集会を行うたびに寂しさがこみ上げてきます。また、子どもたちの仲間を思う優しさと思いやりの気持ちがひしひしと伝わってきます。

○帰国教員

- ・ (北海道)
- ・ 教諭 (京都府)

○帰国する生徒児童

- ・ さん (小学部1年)
- ・ さん (小学部4年)
- ・ さん (小学部6年)
- ・ さん (中学部2年)



マナウス日本人学校で過ごした生活を生涯の思い出として、いつまでも大切にしてほしいと思います。日本の学校に慣れるまで、苦労もあると思います。困難に負けず、頑張してほしいと思います。

4月行事予定

- 11日(月) 着任式、始業式、入学式、スクールバスなし
- 12日(火) 身体測定、Bem Vindo集会、全日1年生11:10下校
- 15日(金) 避難訓練(不審者)
- 18日(月) 全日1年生通常授業開始
内科歯科検診(午後)
- 21日(木) 祝日 チラデンテス祭
- 22日(金) 避難訓練(バス)、委員会
- 24日(日) 参観日、学級懇談、PTA総会

帰国者よりご挨拶

○ 先生

本校の運営母体であるマナウス日本文化振興会、並びに保護者の皆様のご理解と多大なるご支援により、何とか3年間の任期を終えることができました。学校予算の執行にかかわりましては振興会の皆様の寛大なるご配慮をいただきました。保護者の皆様にはゴルフや釣り、そしてPTA行事(特に、文化講座など)を通して、公私ともに楽しい時間を過ごすことができました。感謝申し上げます。私自身も日本人学校で学んだことを次の学校で生かしていく所存でございます。本当に3年間お世話になりました。ありがとうございました。

○ 先生

マナウス日本人学校に来られて「本当によかった」と今、心から感じています。笑顔で楽しく過ごすことができたのも、温かい保護者の皆様、素直で元気な子どもたち、優しい日系の方たちがいてくれたからこそだと思います。今まで当たり前そこにあったもの。今、帰国を目前にして、その大切さをひしひしと感じます。マナウスで過ごしたこの3年間。決して忘れられない、生涯の思い出の宝物です。本当にありがとうございました。